

南阿蘇村の魅力を世界に発信

中松小学校「第5回ジオパーク国際ユネスコ会議」で発表

5月12日から15日にかけて、長崎県島原復興アリーナ（島原市）で開催された「第5回ジオパーク国際ユネスコ会議」に、中松小学校（古澤広義校長）の5年生23人が参加。地元湧水のPRや、水質などの研究成果を英語を交えながら発表しました。

ジオパーク国際ユネスコ会議には、地球科学や環境保全、観光、地域経済の研究者など、31カ国から600人が参加。中松小学校は、13日に行われた「子どもフォーラム」で、自分たちで作詞作曲した中松5つの湧水群コマーシャルソングやダンスなどを元気いっぱい発表しました。発表を終えた渡邊琴さんは、「ちゃんと発表できるかな、と緊張していたけど、みんなで声をかけ合い気持ちを一つにして頑張ったので大成功でした。中松や南阿蘇の良さを伝えることができてほっとしました。5年生の皆との絆が深まったような気がしてとてもうれしかったです」と、話してくれました。



5つの湧水をPRする中松小の児童たち

みなさん
てん長ちはっ!

しんむら ひびき
新村 響樹くん(5歳・男♂)
はるか
春花ちゃん(3歳・女♀)

保護者/太郎さん
佳奈さん
地区名/第四駐在



■表紙の説明



5月18日、両併小学校児童33人が、棚田組合(田上實徳組合長)の協力のもと田植えをしました。2アールの田んぼに植えられたのは、収穫量約80キロ分のもち米の苗。冬には収穫したもち米で、餅つきが行われます。田んぼには、楽しそうに田植えをする子どもたちの声が響きました。

こちら編集長!!

中松小学校が、日本で初めて開催された「第5回ジオパーク国際ユネスコ会議」に参加しました。「ジオパーク」は、文化や自然遺産の「保護」を目的とした「世界遺産」とは違い、保護しつつ、教育や観光に役立て、地域の活性化を図ることが目的です。日本では、5地域が世界ジオパークに認定されており、世界最大級のカルデラを中心とした阿蘇ジオパークも、認定に向けての取り組みが行われています。31カ国(約600人)が参加したジオパーク国際ユネスコ会議。阿蘇を代表して、南阿蘇村の魅力を元気いっぱい世界に発信した中松小学校の皆さん、大変お疲れさまでした。地元を愛する思いが研究の成果となって、世界発信につながったのだと思います。

広報担当になり、さまざまな場所へ行く機会が増えました。情報として知るだけでなく、実際に自分の目で見てみる。それが新たな魅力の発見につながるのだと、改めて実感しています。
(奈央)

■人口

南阿蘇村	男	5,732
	女	6,228
	計	11,960
	世帯数	4,614

平成24年5月31日現在